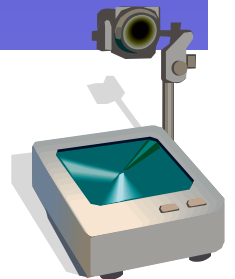




これからの会計士に求められるもの

持永 勇一（会計研究科 教授）



1. 仲間の活躍

会計研究科の同志も400名を超えました。この仲間の中には、日夜勉強に勤しむ在学中の皆さんより一足先に卒業し、様々な現場で理論と実務との狭間に揺れながらがんばっている卒業生がいます。彼らには社会人1年生として、ビジネス・マナーの研修に始まり、朝方の生活パターンへの生活リズムの変更という洗礼が待ち構えていました。また、今までは同世代・同じ価値観の仲間生活していたのが、仕事に就いて、グループの中に若手は一人だけという職場環境に置かれ、また、先方の会社の方も自分の親と同年代で、自分の親ともじっくり話をしなかつたのに、部長と話を苦痛（機会とを考えてください）を経験するという具合です。また、在学生の皆さんが頭を悩ます理論についても、実務に就くと悩みの種類が異なってきます。これまでは体系的に学習する中で、理解や暗記に苦労してきたのに、実務では理論に基づくルールの適用の難しさや、ルール自体に限界があることを実感します。タイミングとして実務は理論に先行しているからですが、知恵の発現という観点からは尊重すべきと考えます。

2. 環境変化

皆さんの今後に影響する経済環境から、グローバルな会計基準、この基準の中でのローカルの運営、及び環境会計の3つを取り上げて考えてみます。 に関しては、検討当初とは隔世の感があるほど議論に变革がもたらされ、アメリカも自国基準を捨てる意思決定を行いました。もはやコンバージェンスではなく、IFRSのフル・アドプションの可能性も否定できないことを想定しなければなりません。しかし、この流れの中には、ファンド至上主義的な会計手法が重宝され、時点評価（公正価値、DCF等）及びディスクロージャーを重視するというお題目が語られながら、実は経営責任やガバナンスを無視しかねないような危うい資本主義の考え方も見え隠れしています。ルールと企業実態とが遊離することは極めて重大な問題ですが、だからこそ、ルールと実務を適合させてゆく会計専門家が求められるのです。いずれにしても、まずは皆さんが関係する企業、地域経済、ひいては日本経済を継続的に強固にしてゆくことが重要です。最後の環境会計については、その重要性はいうまでもありません。しかし、現状は、権益争い・主導権争いに終始しているのではないかと批判の声も数多く聞きます。産みの苦しみとして、次世代に禍根を残さない制度設計を行うように働きかける必要があります。

3. 海図がない海

以上の変革・変化は、これまでの日本だけではなく、世界としても経験してこなかった難しい問題に直面しているからだと思えます。証券取引法の50年の歴史のうち、私はその半分を経験してきましたが、最近の10年、特にこの1年の動きにはパラダイムのシフトを感じます。しかし、これらの難題に対峙する時代に活躍を期待される皆さんには、ぜひ、試練をチャンスと考えてほしいと思います。知識や経験の蓄積は忘れてはなりません。グローバル化の流れの中で、新たな潮流を肌で感じて、自国経済に適時・適切に反映する努力が必要とされています。また、会計を議論する前に、経済自体が多種多様です。多くの人が、いろいろな想いを持って経済活動を営んでいます。どんな優秀な会計専門家であっても、これらの人々の意識改革なしには経済運営を変えることはできません。また、皆さんも一人で様々な役回りはこなせません。この会計研究科の仲間を相互に高めて活用し、経済や会計のメイン・ストリームを作り上げる気概を持って欲しいと思います。

海図がない海に乗り出すときに何を頼るのか。経済や意識変化にまで対応できる「自分」であり、「仲間」だと思えます。また、私の問題意識である「和魂洋才」について、皆さんと議論できるときを楽しみにしています。

会計研究科で学び始めて3ヶ月。 入学後の印象など、1年生に聞いてみました！

私は、法学部出身なので友人からは「なんで、法学部生なのに司法試験を目指さないのか」とか「会計がもしろいって言うなんて変わってるな」とか言われていましたが、将来は、**会計のプロ**として生きていきたいと思い、会計研究科に進学しました。

みなさんが会計研究科に入学するうえで決め手になったものや期待していることはなんですか。生意気な発言になってしまいますが、ちなみに、私は、公認会計士試験に合格するための知識を身に付けることだけでなく、会計の高度な専門知識やそれ以外の分野についても学びたいと思ったから「**会計プラス1(ワン)**」が決め手になりました。会計研究科の授業は、単に計算問題を解くのではなく、それを理論的に学ぶことができ毎日が発見の連続で充実しています。早く**ワークショップで討論しあって、より一層自分の能力を高めたい**です。それとテーマ研究も積極的にやりたいと思います。勉強以外にも会計研究科には、同じ目標を持った友達もいて、早稲田を選んで本当に良かったと思います。期待以上でした。早慶戦も面白かったです。優勝できなかったのは残念ですが。



入学してもう2ヶ月過ぎましたが、毎日朝が早いのと、通勤・通学ラッシュは大変ですが、学校で過ごす楽しい時間を思えば苦にはなりません。2年間は、あっという間で短いかもしれませんが、この**2年間でしか学べないこともたくさんある**と思うので、毎日を無駄にしないようにしていきたいと思います。2年間、よろしくお願ひします。



会計研究科1年
北島俊介
(Kitabatake Shunsuke)

私は理系の単科大学で生命工学を専攻していました。しかし、生命系の知識を生かせる仕事は製薬業界や食品業界といった分野に限定されており、一生の仕事にしたいという情熱もなかったことから、進路を変更することにしました。そんな時に出会ったのが会計でした。職業が何であろうと**経済活動を行う限り必ず会計の知識は役に立ちます**から、その適用範囲の広さが魅力的でした。

卒業後、予備校に通いながら勉強してきましたが、会計的なものの見方がなかなか身に付かず、友人との議論にもほとんどついていけません。そこで、会計学というものを一からきちんと学んでみたいと思い、会計研の門をたたきました。早稲田を選んだのは、そのネームブランドもさることながら、日本の会計の最先端で活躍されている偉大な教授が勢揃いしていることが大きかったです。実際、奥山先生や品川先生の授業は、その道を極めた方々だけにその深さを感じます。**テキストに書いてある規定を作った側の視点から練り広げられる授業**は、予備校などではまず味わえませんが、大変楽しませてもらっています(最近では徐々に定期試験のことが不安になってきました)。今後も自分の興味の視野を狭めずに様々な授業を取っていかようと思っています。



ところで、先日野球の早慶戦を初めて観戦してきました。さすが華の早慶戦といわれているだけあって、3万4千人の早慶関係者で埋め尽くされた神宮は圧巻でした。早稲田に来たことを心底実感できるイベントでした。大学院生として勉強しなくてはならないのは当然ですが、たった2年間しか味わえない早稲田ライフも味わい尽くしたいですね(笑)。

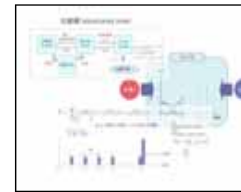
会計研究科1年
塩田秀樹 (Shiota Hideki)

ファイナンスのための数理ワークショップ

「このワークショップって何？」 豊泉洋 (会計研究科 教授)

事務所前の掲示板でみかけて疑問に思った方も多と思います。会計研の正規科目であるワークショップ科目ではありません。このワークショップは、基幹理工学部の応用数理学科で主催しているものです。(豊泉は、応用数理学科の教員でもあります。)

会計研の学生には、あまりなじみがないと思いますが、大学院では、最新の知識に触れたり、自分の研究を他の人知ってもらうために、オープンな形でセミナーや研究会を開催することもよくあります。この「ファイナンスのための数理ワークショップ」は、数理ファイナンスをやっている人達にそんな場を提供するために、去年から月末の金曜日の昼間に理工キャンパスで行なっています。



ワークショップの発表資料イメージ

今までも、みなさんになじみ深い佐々木先生をはじめ、ファイナンス研などの早稲田大学の教員はもちろん、野村証券の金融工学研究センターの研究員、東工大の理財工学研究センターの教授などにも登場してもらっています。ちなみに次回(6月27日(金)16:30~17:30)は、佐々木先生のお弟子さんの赤星さんにオークションの理論について発表してもらう予定です。詳しくは、http://www.f.waseda.jp/toyoizumi/workshop/math_finance.htmlをご覧ください。

数理をテーマにしているので、かなり高度な数学的な知識を要求していますが、対象は、みなさんも興味のあるファイナンスです。ファイナンスに志のある人でも、たまにはアカデミックな雰囲気も満喫してみたいという興味本位の人でも、聴講は自由ですので、理工学部のキャンパスまで足を延ばしてみてください。

次回開催は、
6月27日(金)



春の早慶戦



「幸運の早慶戦」

私が早慶戦に行けたのは3つの幸運があった。1つ目はチケットが抽選に外れたにもかかわらず応援団から手に入れる事ができた事、2つ目は短答後に試合をやった事、3つ目は雨にもかかわらず試合をやった事だ。これが1つでも食い違っていたら私は早慶戦を生で観戦する事が出来なかっただろう。私は一回目の試合を観戦したのだが、その試合は慶應が一点取り、早稲田が一点取りといったような攻防が続いていた。そして2対2の7回裏！上本の本盗で逆転し、それが決め手となり早稲田が勝利した。その日は友達と早稲田の清酒を自宅で飲み、勝利の余韻に浸った。

今回は早慶戦の観戦の感想で終わってしまったが今度ここに書く時は会計士の合格体験記を書けるように頑張ります。(´A`)/

会計研究科1年
鎌田京佑 (Kamada Keisuke)

NHK土曜ドラマ「監査法人」 6月14日スタート(午後9時~、全6回)

一枚の決算書をめぐる、「企業」と「監査法人」の攻防を描く本格経済ドラマ

監査業務をおこなう公認会計士たちの活躍や葛藤を通して、息詰まる企業監査の現場や粉飾決算の裏側を初めてドラマ化します。

近年、偽装商品や粉飾決算など企業モラルが問われるニュースが相次いでいます。企業経営をチェックするのが「監査法人」ですが、その内実はあまり知られていません。「監査法人」は、「決算書」に承認印を押さなければ、その企業を上場廃止に追い込むほどの力を持っています。

ドラマでは、経済界における巨大権力組織となった「監査法人」の内幕を描きます。「監査法人」めぐる財界・政界・外資の思惑も絡めたスケール感あふれるオリジナルドラマ。

(NHKプレスリリースより一部抜粋)

【第1回】「会社、つぶせませうか」
【第2回】「800億円の裏帳簿」
NHK名古屋放送局のサイトで紹介されています！
<http://www.nhk.or.jp/dodra/kansahoujin/>

学生親睦会

～ 1年生親睦会を行いました～

幹事 間瀬雄大 文責 西田優里

6月5日(木)、高田馬場の素材屋で4期生の親睦会を行いました。あいにくの天気ではありましたが7名の先生に来ていただき、80人を超える大規模な会となり、和気あいあいとした雰囲気です3時間を過ごすことができました。

4月に入学式が行われ、履修申告に頭を悩ませ、授業のレベルとスピードに驚き、やっと研究科に慣れてきたと思ったら短答式試験直前。2ヶ月間、あわただしい日々でした。入学して以来各クラスで親睦会を行い、授業やワークショップ等で顔を合わせ、いろいろな人と親しくなる機会があったと思われませんが、落ち着いた状態でクラス等の隔たり無く話す機会がもてたのは初めてのことで、2年間同じ空間で過ごす仲間を知ることが出来たのは大変有意義だったと思います。

先生方はとてもフレンドリーで、あちらこちらで学生たちに囲まれているお姿を拝見しました。普段の教鞭を執るのとは違うお姿の先生とゆっくりお話したり、授業をまだ履修していない先生の事を知る機会が持てたり、お酌していただいたり、緊張しつつも先生方の優しさにふれることが出来ました。二次会は比較的小規模に、とはいえ40人くらいいたと記憶しておりますが、2人の先生も一緒にいてくださり、とてもいい雰囲気でした。

今回の親睦会を機に、顔は見たことあるんだけど...という思いから、あ、こういう人がいるんだ、もっといろいろな人と仲良くなりたい、という期待感を参加者全員が持つことができていると幸いです。

なお、親睦会の写真はYahoo!フォトにて見られる状態にいたしました。URLが分からない方は、幹事までお尋ねください。また、二次会以降もあまったお金は、夏合宿の資金の一部にあてることを考えています。

最後に、ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。今回参加できずに残念に思った方のためにも、またこのような機会を持てたらと思っております。そのときもまた、ぜひご参加ください。



会計研究科 夏合宿

日程 2008年8月27日(水)・28日(木)の1泊2日
場所 早稲田大学鴨川セミナーハウス(予定)
資格 会計研究科の正規学生ならどなたでも!
参加費 追って通知します。昨年度実績:12,000円
申込期間 2008年5月26日(月)～6月30日(月)
申込方法 メールで題を「夏合宿参加申込」とし、氏名・学籍番号・携帯電話番号を下記アドレスまでお知らせ下さい。携帯から送信する場合は、必ず、PCアドレスを明記すること。
E-mail: accounting-student@list.waseda.jp

以上



クラス仲間など、たくさんの方に声をかけて、ご参加ください。(^^)

学生・教職員 懇親会の開催



本研究科では、皆さんの情報交換の場として、また勉強上のことや今後の進路のことなどを気軽に話せる場として、下記のとおり懇親会を開催いたします。教員も多数参加する予定ですので、軽い食事をとりながら、日頃教室ではじっくり相談できないことなどを自由にお話しいただけたらと思います。多くの皆さんの参加をお待ちしております!

記

開催日: 7月16日(水)

時間: 12:15-13:00 (3限のない学生は14:00まで)

場所: 国際会議場・3F・第一会議室

申込: 次のいずれかの方法でお申込ください。

会計研事務所カウンターの申込表に記入

メールで題を「7月16日懇親会申込」とし、氏名・学籍番号を下記アドレスまでお知らせ下さい。

E-mail: accounting-student@list.waseda.jp